



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

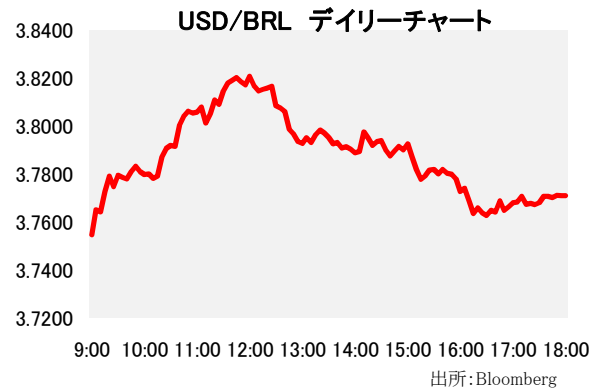
1. マーケット・レート

			11月6日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7680	3.7990	3.7470	3.7610	3.7710	+0.0100
	BRL/JPY	Spot	32.68	32.40	32.88	32.67	32.51	-0.16
	EUR/USD	Spot	1.0743	1.0758	1.0710	1.0741	1.0798	+0.0057
	USD/JPY	Spot	123.21	123.10	123.24	122.88	122.61	-0.27
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.788	14.811	14.859	14.811	14.876	+0.065
	Future	1Year(p.a.)	15.318	15.468	15.497	15.404	15.535	+0.131
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.096	3.274	3.238	3.192	3.098	-0.094
	USD	1Year(p.a.)	3.830	4.051	4.062	4.029	3.985	-0.044
株式	Bovespa指数		46,919	46,195	46,207	47,065	46,884	-181
CDS	CDS Brazil 5y		405.06	422.10	410.04	403.00	426.00	+23.00
商品	CRB指数		191.034	189.223	189.416	188.348	186.428	-1.92

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

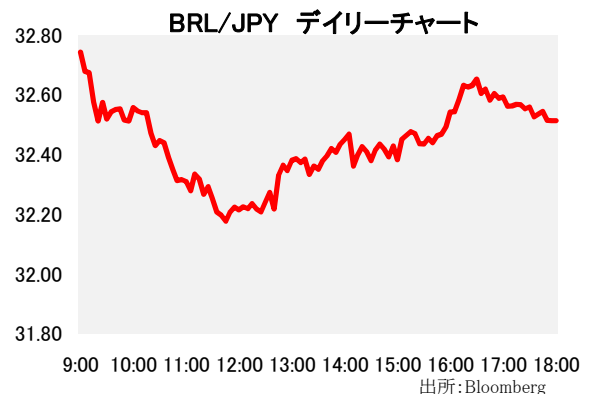
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
小売売上高(前月比)	-0.9%	-0.5%	-0.9%
小売売上高(前年比)	-7.2%	-6.2%	-6.9%
広義小売売上高(前月比)	-2.5%	-1.5%	-2.0%
広義小売売上高(前年比)	-12.2%	-11.5%	-9.6%
(米)新規失業保険申請件数	270K	276K	276K
(米)ブルームバーグ消費者信頼感	--	41.6	41.1
(米)月次財政収支	-\$131.5b	-\$136.5b	-\$121.7b



3. 要人コメント

ダドリーNY連銀総裁	12月利上げを指示するかどうかは発言を控える。インフレ率はFOMCの目標を大きく下回っている。
------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.7640で寄り付いた。9月の小売売上高が予想ほど悪化しなかったことを受けてレアルはオープン直後に3.7410つけた。しかし、その後は中国の融資残高が伸び悩んでいることや米利上げへの警戒感からリスクオフムードとなり、レアルは本日の安値となる3.8250までジリ安となった。その後、ボベスパ指数が下げ止まるとレアルは反発した。ダドリーNY連銀総裁の発言で米早期利上げの期待感が後退したこと等からドルが全般的に売られるとレアルは3.75台まで反発し、結局3.7710でクローズした。
- 本日はFRB理事の公演が相次ぎ、米利上げに関する思惑が交錯した。エバンス・シカゴ連銀総裁は来年以降の利上げを指示するとし、ダドリーNY連銀総裁も現在のインフレ率はFOMCの目標を大きく下回っているとコメントした。総じて早期利上げに慎重なコメントが目立った。
- EIA石油在庫統計で原油在庫が予想以上に増加し、7週連続の増加となったことを受けて原油価格は大幅続落した。WTI先物は41ドル台半ばまで下落し、8月以来2か月半ぶりの水準をつけた。ボベスパ指数は反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様自身でご判断下さいませう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。